令和８年度　清瀬市立清瀬第五中学校　校長室たより ９月ノ５号　発行日 R8,9,30　五中 HP

ひまわりノ畑

教育目標　思索・和敬・剛健
学校スローガン　笑顔と あいさつ そして ありがとう
http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedaigotyuugakkou/index.htm

「ブラタモリ」気分で古都をぶらぶら



秋雨前線が、関西地方にかかり、すっきりとした秋晴れとはなりませんでしたが、初日と２日目は、時折陽ざしが射し、気温が３０℃近くまで上がり、汗ばむくらいの残暑で、日傘をさしている生徒もいましたが、朝夕は肌寒く感じるほどでした。最終日は、雨となりましたが、タクシーを利用しての班行動でしたので、難儀なく見学ができたようです。

ちょうど台風の合間となり、なんとか天候に恵まれた修学旅行となりました。

修学旅行前週の「ブラタモリ」（NHK 総合）の内容がちょうど東大寺スペシャルでしたので、それを観て、東大寺や二月堂、法華堂、唐招提寺、そして鑑真和上について復習しておくことが出来ました。昨年もこの時期に三十三間堂の特集があり、過去にも清水寺や鴨川、銀閣寺なども紹介されていて、それらを思い出しながらブラタモリの気分で、生徒たちの姿を追いながら、奈良・京都をぶらぶらしました。

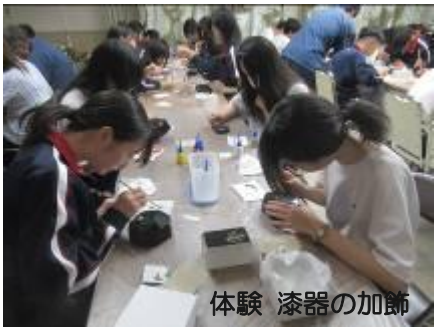
今回の個人的な旅行テーマは、「豊臣兄弟」でした。奈良で興福寺を訪れた際は、豊臣秀長が大和を納める際に難儀した姿を想像し、京都で清水寺・三十三間堂を巡回する際、途中で北政所（秀吉の正室）とゆかりある高台寺に寄り、また豊国神社と方広寺にも寄り、豊臣秀吉が建立した大仏殿の跡や石垣、豊臣秀頼が奉納して、大阪冬の陣のきっかけとなった鐘（方広寺鐘名事件）、そして朝鮮出兵に関連する耳塚も見学してきました。本当に京都は至る所に歴史が落ちている古の都（いにしえのみやこ）です。


奈良　東大寺　大仏


奈良　興福寺

■初日 9/24(木) 奈良見学 ⇒ そして京都へ

初日は、京都から近鉄線で奈良に入り、班毎に奈良公園を散策した後、ＪＲ奈良駅から宿まで５０ｋｍほどの移動で、ちょっとした冒険旅行気分だったと思います。最初は鹿の多さに驚きと、鹿の落とし物をよけて歩くのに四苦八苦していましたが、こんどは予想以上の大仏と大仏殿の大きさに驚き、春日大社までは思ったよりも遠く、奈良公園は何もかも広く大きかったです。博物館が連休明けの臨時休館日で、見学を予定していた班は残念でした。夕食後は、漆器の絵付け（加飾）体験をしましたが、１時間の体験でしたが、時間が足りないほど、集中して作業をしていた生徒もおり、作品展での展示を楽しみにしていて下さい。


体験　漆器の加飾

■2日目 9/25(金) 京都一日班別行動

２日目は一日、バスと電車を使って京都市内巡りをしました。午前中に清水寺に行って、時計回りに京都を巡ったり、伏見稲荷あたりまで足を伸ばす班が多かったようです。天候に恵まれ、清水の舞台から一望した京都の景色は素晴らしかったです。この日、街で出会えたのは、清水寺で５つの班、三十三間堂で２つの班、街中でひと班だけでしたが、生徒たちはスマホの地図アプリなどを屈指して、迷うことも少なかったようで、順調に回った班の中には、見学先の予定を追加して、一日を有意義に使っていました。班員が体調不良になり、少し遅れると連絡をくれた班を除き、門限の 17:00 ちょうどに駆け込む班もいましたが、無事到着、最後の班も５分遅れくらいでした。京都旅行は初めての生徒が多く、知らない街歩きはやはり緊張していたようで、宿に戻った時に


京都　清水寺

は、ほっとした顔を見せ、その様子で先生方もほっとしていました。夕食後は、舞妓さん舞踊鑑賞で、日本人形のような舞妓さんに、皆でうっとりしました。


京都 三十三間堂

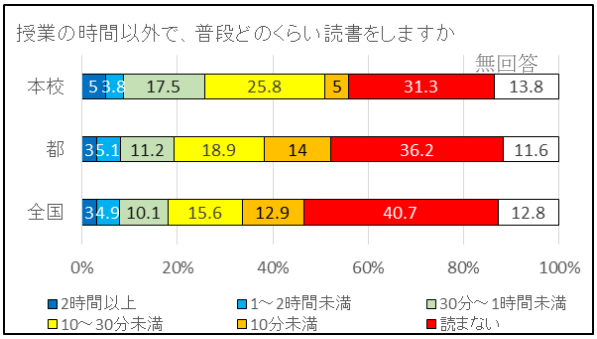
■3日目 9/26(土) 京都タクシー行動 ⇒ そして東京へ

３日目の午前中はタクシー行動で、運転手さんが観光ガイドも務めてくださり、交通機関や時間の心配もなくリラックスして、じっくり見学できたようです。金閣寺や竜安寺、嵐山方面を訪れた班が多かったです。

秋の連休明けでもあり、まずまずの混雑具合で助かりました。確かに海外の観光客の方が多く、80%程、修学旅行や遠足の児童・生徒が 15%、国内旅行の方が５%ぐらいという感じでした。３日間とも、趣向の異なる旅でしたが、生徒の皆さんは事前学習で得た歴史や文化・伝統などの知識を、五感を使って体験し、忘れることのない確かな知識へとしてくれたと思います。今年の修学旅行は、抜けるような秋晴れとはなりませんでしたが、生徒の皆さんは、晴れやかな気分で、古都探訪を満喫してくれたと思います。そして、責任と自覚ある行動で、お世話になった方々にお褒めの言葉を頂き、案ずることがない旅となったことに、生徒の皆さんに感謝します。ありがとうございました。お疲れ様！

■「おうち図書館」学校への宅配が始まります。清瀬市立図書館

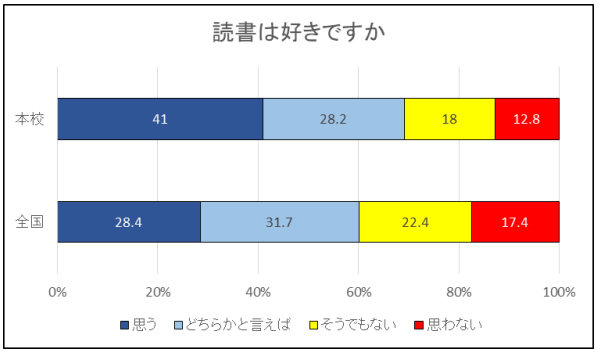
先々週、１年の皆さんに「清瀬市立図書館利用カード」が届き、本の宅配貸出サービス「おうち図書館」の学校での貸出・返却が、中学校でも始まります。２・３年生のカードについては申請作業を進めているところですので、もうしばらくお待ち下さい。学校での取次は、毎週火曜日の１回ですが、自宅への「置き配サービス」はしていないそうで、不在の多いご家庭は、学校の方が都合が良いかもしれません。市立図書館には約 35 万冊の本がありますので、図書室にない本にも出会えると思います。まずは図書館 HP にアクセスをしてみましょう。



全国学力学習状況調査 ～読書～

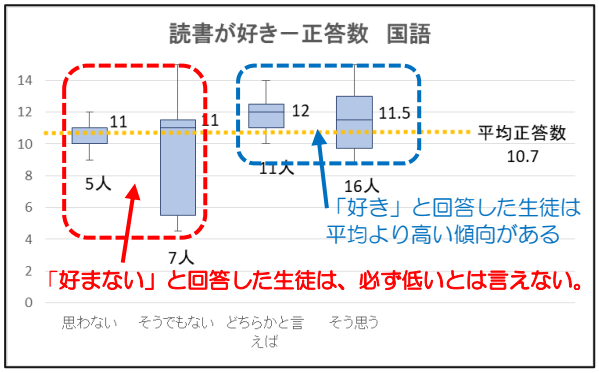
右上の図は、全国学力調査における平日の読書時間の集計です。朝読書の時間を入れているかで多少変わるかもしれませんが、本校は**読書をする生徒が多い傾向**とは言えそうですが、３割の生徒が読書をしていないようです。中学生になると勉強や部活、習い事などで忙しく、さらにスマホを持つと、時間がなくなるのでしょうか？

右中上の図は、全国学力調査の「読書は好きですか」の集計です。この質問は抽出形式の質問で、全生徒の回答ではありませんが、**本校は読書を好む生徒の比率が高い傾向**と言えます。



右中下の図は、「読書は好きですかと国語の正答数」の本校における相関です。**好きと回答した生徒の正答数は、平均よりも高い傾向にある**と言えますが、好まない生徒は、分散が大きく（高い生徒から低い生徒まで）、必ずしも正答数が低いとは言えません。

文科省の分析では、『「読書は好き」「読書は役に立つ」と考える生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向が見られるが、読書が好きと考える生徒の割合は減少傾向』とのことです。



読書は、学力の礎を築く

文字を読む読書で身につく力には、「語彙力」「読解力」「論理的思考力」「知識力」「想像力・創造力」があると言われています。

特に「語彙力」は、自分の考えや感情などを細やかに伝える表現力に、「読解力」は、長い文章や会話の中から、要点を抽出して、内容の骨格を把握する力にそれぞれ繋がります。そして小説には起承転結があり、物語を読み進めながら、自然と物事を順序立て考えていくことを学び、論理的思考力が身に付くと言われています。やはり読書は、学力の礎です。

